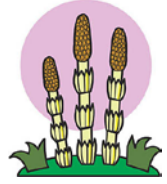




# たいよう



葵が丘小学校 ことばの教室便り

平成30年3月1日号

- 7日(水) 研修と市審査会のため、終日、全組、指導はお休みです。
- 13日(火) 本年度の指導終了日(予定)
- 14日(水) ひまわり組の指導・相談はお休みです。
- 15日(木) ※葵が丘小学校 修了式
- 16日(金) ※葵が丘小学校 卒業式
- 17日(土) 春休み(～4月5日(金)) 開級式までは、原則としてことばの教室の指導はありません。
- 27日(火) ※葵が丘小学校 離任式

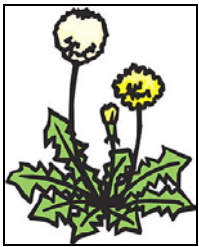


3月の予定

- 4月10日(火) ことばの教室 新年度 開級式
- 4月11日(水) 指導開始

29年度の「ことばの教室親の会」の役員の皆さん、ありがとうございました。  
 新年度の役員の皆さん、引き受けていただいてありがとうございます。よろしくお願いたします。

## お願い



- 来年度の「時間割希望調べ」を配布しています。これをもとに来年度の指導の時間割を決めますので、お早めに担当者までに提出ください。
- 4月10日(火) 10:00よりプレイルームで「開級式」と「親の会総会」を行います。開級式後に親の会総会となります。その後各指導室で、時間割の確認と調整を行います。
- 「ことばの教室親の会」にぜひ御加入ください。ことばの教室親の会は保護者同士の交流を深め、子供体験活動を広げます。親の会の活動があるので、県から補助金をいただくことができます。そのお金で、プレイルームのおもちゃや教材につかう教材を購入することができます。まだ、未加入の方は入会をしていただけるよう御協力ください。

## 「聞く」のが苦手な子供たちについて

ことばの教室の担当をしていますと、保護者の方から「うちの子は話が聞くのが苦手で・・・」など「聞くこと」についての相談を受けることがよくあります。そこで「聞くこと」について、簡単にその原因についてまとめてみました。

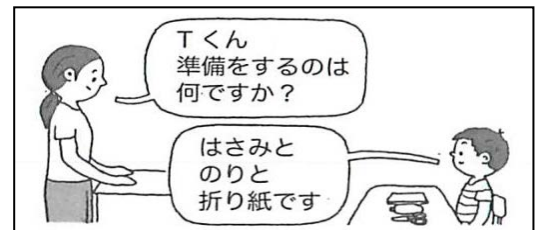
→ **【まとめた表が裏面にあります】**



▼聞くことが苦手な様子	原因として考えられること						
	選択的注意を向けることが苦手	弱い	音を聞き分ける力が弱い	ワーキングメモリーが弱い	短期記憶が弱い	長期記憶が弱い（語いや文法に弱さがある）	情報を統合する（場の空気を読む）力が弱い
① 一対一の場面での口頭での指示に戸惑う/口頭での指示が分からない。		○	○	○	○		
② 広い場所や集団場面での口頭指示が分からない/一歩遅れて行動する。	○	○	○	○	○		
③ 話し合いや会話に参加しにくい。	○	○	○	○	○		○
④ 遊びなどのルールが分からない。		○	○	○	○		○
⑤ 単語の中の音を間違えて覚えている。		○					
⑥ ダとラ、ヒとシなど似ている音の文字をいつも誤って書いている。		○					
⑦ 雑音があると聞き取りにくい。	○	○					
⑧ 新しい言葉をなかなか覚えられない（語いが少ない）。		○	○	○	○		
⑨ 板書以外のものは、連絡帳やノートに書けない。		○	○				
⑩ 聞いたことをすぐに忘れてしまう。			○	○	○		
⑪ 授業中や会話での聞き返しが多い。	○	○	○	○			
⑫ 復唱をすることができるのに意味を覚えていない						○	○
⑬ 聞いていないように見える	○						○

## 話す側が 少し工夫していきましょう！

☆「選択的注意」とは、集中すべきものにちゃんと集中することです。これが苦手な子に、遠くから「話を聞きなさい」と大声で何度言っても「聞く」のは難しいです。ちょっとそばまで行って、注意をこちらに向けさせてから話をしてあげましょう。



☆ 注意が散りやすい環境（例：テレビがついてる、他の子が周囲で遊んでいる）では、気が散って当たり前です。大人が環境を整えてあげることも大切です。



☆ 絵本の読み聞かせも、子供の注意を話し手や本に向けさせる練習にもなります。

☆ ワーキングメモリーや短期記憶が弱い子供たちには、お話をした後、内容をもう一回確認しましょう。「さっき言ったでしょ？」は禁句です。



☆ 見て確認できるようにしてあげるようにしてあげると、自分で何度も見て確認できるので楽です。家庭では、100円ショップで売っているホワイトボードなどに文字で書いて示すと便利です。

☆ 昔ながらの様々な子供図鑑や絵本は効果大です。子供たちが自分のペースで本を眺め、文字とイラストや写真を繰り返しマッチングすることで、読む意欲と同時に長期記憶を育て、語いを伸ばすことができます。携帯ゲームやスマホに子守りをさせてはいけません。

「もう一度教えて」「忘れちゃった」と正直に言えることを褒めてあげましょう。

一番、子供にとって良くないのは、「聞けないのは自分が悪いんだ」という経験を積み重ねていくことです。日頃から「質問してもいいんだ」という雰囲気を作りましょう。